

連盟ニュース

3 2 6

神奈川

3

2012.3.13



題名：『初春の八海山(県連リーダー学校講習風景)』 場所：新潟県八海山 撮影：鳥越章夫(<http://tory.com/>)

第33期理事役員名簿 3p



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 ゆうちょ銀行 記号 10280 番号 61104271

名前 カナガワケンキンロウシャサンガクレンメイ

他金融機関からは 028 普通預金 口座番号 6110427

3月号(3 2 6) 目 次

第33期理事・役員名簿(2012.3)	3
労山第30回全国総会に参加して	川崎ハイキングクラブ事務局 伊藤 健司 4
《お知らせ》	
. 県連交流山行「佐渡島」4/20-22	ハイキング委員会 3
《報告》	
関東ブロック救助隊交流集会報告2/25-26	救助隊 松本和子 5
ハイキング委員会オプション山行「湯の丸山/長野」3/2-4	清藤秀子 4
第2回クリーンハイク実行委員会2/27	8
2月事務局長会議2/14	8
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定	9
川崎労山、川崎HC、川崎柴笛クラブ、AC横浜、こぶし、藤沢山の会、 相模アルパインクラブ、さがみ山友会、カモの会、M&C、	
登山時報 3月号紹介	11
県連のスケジュール	12



「季節の花 300」よりモモ

神奈川県勤労者山岳連盟第33期理事役員名簿(2012.3)

役職	氏名	会名	現	新	任務(内定を含む)
会長	渡辺三男	相模アルパインクラブ			自然保護委員長
副会長					
理事長	後藤真一	山岳素行童人メーグリ家カモの会			組織部
副理事長	田村和寿	相模アルパインクラブ			
副理事長					
理事	佐藤悠子	川崎勤労者山岳会			救助隊
理事	大用ユキ子	川崎ハイキングクラブ			自然保護委員会
理事	三浦昭男	川崎ハイキングクラブ			ハイキング委員会委員長
理事	小林悦治	川崎ハイキングクラブ			ハイキング委員会
理事	清藤秀子	川崎ハイキングクラブ			ハイキング委員会 / 財政
理事	当山利雄	川崎ハイキングクラブ			ハイキング委員会
理事	海輪利昭	川崎柴笛クラブ			救助隊長
理事	大澤正哉	川崎柴笛クラブ			教育部
理事	松本和子	川崎柴笛クラブ			救助隊
理事	小野郁生	アルパインクラブ横浜			救助隊
理事	三上茂	横浜こぶしの会			事務局機関紙
理事	加藤正敏	藤沢山の会			ハイキング委員会
理事	丸山久直	藤沢山の会			遭難対策部部長
理事	鳥越章夫	小田原ナーゲル山の会カモの会			遭難対策部、HP、教育部、救助隊
理事	蝦名政次	相模アルパインクラブ			ハイキング委員会
理事	入木田実文	みずなら山の会			事務局
理事	早川尚武	さがみ山友会			救助隊
理事	山崎弘介	カモの会			遭難対策部
理事	青木武志	雪童山の会			
理事	磯部津輝子	地平線の会			自然保護委員会
理事	柴田勇作	やま++			遭難対策部
理事	三瓶健	山岳素行童人メーグリ家			教育部部長
理事	神野雅幸	山岳素行童人メーグリ家			教育部
理事	川上昌宏	おるた!			教育部
理事	岡崎広土	M & C			教育部
会計監査	村松勝	川崎勤労者山岳会			
会計監査	(宮沢春美)	(川崎柴笛クラブ)			

県連交流山行「佐渡島」

ハイキング委員会

島の最高峰「金北山」 1172mを登り、夜は郷土芸能をご覧いただけます。

日 時：4月20日（金）24：00発～22日（日）

費 用：30,000円

参加人数：28名先着順

申込締切：3月31日

ミーティング、詳細は申込後ご案内します。

連絡先：清藤0465-48-2153/080-5055-2708

Eメール：seidou.hideko@rainbow.plala.or.jp



「季節の花300」よりスズランズ 他

労山第30回全国総会に参加して

川崎ハイキングクラブ事務局 伊藤 健司

労山の川崎ハイキングクラブに入会して、私は今年で10年目です。そのためではないですが、神奈川県連盟の代議員のひとりとして総会(2/18-19:東京晴海グランドホテル)に参加してきました。

全国では、どのようにことが話題となり議論がされているのか、特に最近目立って増えている中高年の山岳遭難と、ここ数年来議論がされている労山の組織会員(20,423名:2011年末)の拡大と個人会員制度の導入について、特に関心を持って望みました。山岳遭難に関しては、2011年度も279名と死亡事故につながる重大事故も発生していて、事故者の男女差はなく年齢層は年々高くなって、2009年度より30歳台が若干増加していることが報告されて、登山人口1,000万人といわれるの「中高年」、「山ガール」、「山ボーイ」の姿が私の脳裏を駆け巡りました。また、道央の代議員の方が、海内での事故の「特別基金」の交付に関して、「海外山行は全国連盟の海外委員会に届けがないと交付がされない」(海外委員会から、山行届けに対する経験、実績にもつづくアドバイスがされることも。)との規定にたいして問題の提起がなされて、当会も海外山行(トレッキング等)の事例があるため認識を新たにしました。

個人会員制度は“激論”の末、可決(賛成:39、反対:19、保留:9)がなされましたが、多くの課題(現行の団体加盟と個人加盟の制度間の連携、全国と地方との役割・

協力体制、中央のデータ管理のセキュリティ問題と財政計画、そしてなによりも50年を超える労山としての社会的役割とはなにか)が明確に整理された会議になった、とは私には思えませんでした。

しかし、“長い間議論をしてきた結果、とにかく第一歩を踏み出してみる”と言うのが、今総会で皆さんの意思ではなかったかと思っています。

総会へは、北は北海道、南は九州・沖縄から85名の参加があり、大震災からの復興に立ち上がっている奥羽・東北連盟、そして会期中にも豪雪と戦っている北信越連盟、さまざまな先進的な活動をしている東海・近畿連盟そして地元関東の方々と、様々な地域事情、人材不足等を抱えながら、山に登る、自然が好きだ、とのことだけで集まって、熱い議論が繰り広げられた有意義な総会に参加ができた、と思っています。

最後に、川崎ハイキングクラブ(現在100名の会員数)が全国666団体の中でも、100名以上の団体は28で、私達もその一員であることが総会資料に記載されていて、誇りとともに労山の先頭グループを走っているという自覚(なでしこの沢選手ではありませんが、苦しいときは私の背中をみなさい)と役割を、再認識致しました。

私を代議員として推薦を頂いた、県連盟の理事会の皆様へ感謝を申し上げます。

ハイキング委員会オプション山行 「湯の丸山/長野」3月2日(金)~4日(日)

昨年中止になり、17、18期受講生合同で8名、講師6名で実施しました。

3日 湯の丸スキー場横の斜面で初級雪山トレーニングを行い、ピッケル、ストックの使い方、キックステップ、つぼ足で登り下降の練習、アイゼン装着し湯の丸山登山

を行う。

スノーシューは皆さん未経験でしたので、雪原で歩行の体験を行いました。

4日 布引山ハイキングでは参道が凍りついて滑りやすい状況だった。この時期にしては初めての事です。境内からは凍結もなく歩きやすい登山道で浅間山外輪山が良く見渡せた。

報告:清藤

関東ブロック救助隊交流集会報告

日時：2012年2月25-26日

救助隊 松本 和子

1. 栃木県消防防災航空隊講義

現役の航空隊隊長からの講義と、実際の救助活動の記録映像(3件)、救助資器材の説明を頂いた。

いずれも現場に即した内容で、質疑応答も相次ぎ、大変貴重な機会を頂いたと感じている。

山岳救助に対しても「救助が出来るのだから、どんどんヘリを活用してもらっていいと考えている」とのことだったが、ヘリでの活動は天候や高度の影響を大きく受け、地形によっても危険を伴うものであることから、救助を要請する側としては、救助に来てくれる人は命を懸けて来てくれるのだということ、決して軽んじてはならないと考える。

また、警察や民間のヘリが運搬が仕事であるのに対して、消防のヘリは救助が仕事であり、現場に隊員が到着した時から救急処置が始まるのが特徴であることは認知すべきと考える。山岳地域によって消防防災ヘリ対応の状況は異なるかもしれないが、要救助者が救急医療を要する場合は、消防へのヘリ要請が適切であると感じた。

尚、ヘリが所有する担架は固定・梱包システム付で、迅速なセットが可能であるため、地上救助班による梱包は不要である。

1.1 栃木県消防防災航空隊の概要

宇都宮-東京間を約30分で飛行出来るなど、地上活動に比較して格段に動きが早い。所有のヘリは200km/h定格。

ヘリは馬力と重量が要であるが、特に標高が2000mを超えるような山岳救助においては、尚更重要となる。従って、15人乗りのヘリでも、ぎりぎりの隊員数(4名など)と、ぎりぎりの燃料で出動することになる。

要請は119。

1.2 ヘリコプターによる山岳救助の現状

ヘリによる年間の総出動数は約1000件で、この内、救助目的での出動は23件(昨年)。

23件中、山岳救助の総出動数は約15件。その内、登山での要請は昨年7件、一昨年11件。

近年、ヘリによる山岳救助は増加傾向にある。公的機関のヘリによる無料化、携帯電話が山岳地域でも通じるようになった等の通信手段の発達によるものと見ている。救助が出来るのであるから、どんどんヘリを活用してもらっていいと考えているが、ヘリの特性上、天候によっては飛べないこともある。

一般的に、防災活動の現場は正常な状態ではなく常に危険を伴うもので「安全第一」の思想では活動が出来ない。このため、地上活動の場合は「安全第一」ではなく、「過去の検証等により、安全性が確保出来ていると判断出来ているところまでは活動する」としている。

これに対して、ヘリ活動は「安全第一」であることが特徴である。隊員の安全を期して、例えば天候が好ましくなければ活動をしないとということになる。

2012年1月3日に発生した槍ヶ岳北鎌尾根でのヘリ救助は、他県の対応であるが、1日目に2度出動するも、天候が悪いため途中で断念、2日目になんとか救助が出来たという状況だったと聞いている。要救助者の状況としては、救助要請時の「低体温症で身動きが取れない」というような切迫した状況では無かった様だ。

(実際には低体温症にはなっておらず、「寒かった、食糧・ガスが無くなっただけだった」と新聞報道もされている。この件については言葉を濁しながらの講話で、口調は穏やかであったが、命を懸けて出動する隊員や、隊員を出動させる立場からは、こんな救助要請は勘弁してもらいたい、たまらない、という気持ちであろうというこ

とは推して然るべきである。)

1.3 地上救助隊の活動について

ヘリ救助を要請した場合に、地上側が取るべき行動、注意事項について説明頂いた。ヘリに必要な情報を届ける。知りたい情報は以下の通り。重要度順に記述。

1. 遭難場所。緯度、経度が判れば最も良い。

場所の特定に時間が掛かると、救助が遅れるだけでなく、その分燃料も消費してしまう。重量を少なくするために燃料量に余裕は無いので、早急に場所を特定できることは重要である。

2. 負傷の程度、意識の有無。

3. 実施した応急処置の内容。

4. 遭難パーティーを特定する情報。

上下オーバー具の色。パーティーの人数など。

5. ヘリへの合図方法。

特に森林地帯ではライトの点滅が有効。上空から見ると森林は暗く、その中で点滅するライトは見つけやすい。発煙筒は煙が森林地帯内に流れて上空からは判らない。

6. 現地の気象状況。ガス、風、風向きなど。

救助要請する場所について。

1. 1m四方程度の空間があれば、ホイストで隊員を降ろすことが出来る。

ホイスト救助は危険を伴うので、ヘリが着地出来る広さがあれば勿論着地をする。

2. 稜線の風上側か風下側か？

風下側にはダウンフォースがかかることもあるが、風下で救助を待ってくれてよい。

その方が要救助者も風を避けることが出来る(ヘリは風上に向かって進む。ホバリングも同じ。)

3. 谷か尾根か？

尾根は周囲に障害物がないが、谷の場合は木や岩があり、これらとの接触を防ぐために高度を下げられず、ホイストで

隊員を降ろす距離が長くなってしまう場合がある。

ホバリングは通常地上約30mで行うが、所有のホイストは60m超まで対応可能。

4. とにかく、空間さえあれば隊員が降りることが出来る。

地上救助メンバーがいれば、隊員の指示の元、要救助者を移動することも出来る。

ヘリは常時、地上の消防本部と無線交信をしており、遭難現場へ向かう途中でも情報の更新が可能である。この無線はアマチュア無線とは別物なので、登山者が無線を持っていても直接の交信は不可能。登山者からの情報は、消防本部を介してヘリに伝達される。

ヘリが現場に接近すると、ヘリから風速10-18m/sec.程度のダウンフォースが地上にかかる。

体重の軽い人や、現場が岩場の場合は、飛ばされる可能性がある。

消防本部に救助要請の一報が届いてからヘリ出動までの所要時間は、冬期で10分程度。

隊員は季節や山岳状況に合わせて、オーバー具、アイゼンなどの装備も準備する。

ヘリは毎朝の点検を経て出動可能体制となっており、ヘリが出払っていなければ、隊員の準備が出来次第の離陸となる。

1.4 実際の救助活動の記録映像紹介(3件)

全ての救助活動は映像を記録している。今回は3件の事例を紹介頂いた。要点は以下のとおり。

森林内から遭難場所を知らせるには、ライトの点滅が有効である。

尾瀬の例では、小屋か地上救助組織のものと思われる強力なライトでの点滅信号が遙か彼方から位置を知らせることに成功しており、ヘリ救助隊に「いい遭難者だ」と言わしめた。

ライトが点滅することで、ヘリからの視界に変化が生まれ、発見につながる。

更に、尾瀬の例では、「ヘリが近づいてきたら黄色い布を広げて知らせる」という地上からの事前情報が届いており、実際に現場に近づいたときにパッと黄色い布が広げられ、場所特定の確信を持たせることに成功している。

ヘリが遠くにいる時からずっと黄色い布を見せるのではなく、近づいた時にパッと現れることが目立って判りやすい。

遠方から現場の特定が出来なかった場合は、付近に到着したら、ヘリのドアを開けて隊員が身を乗り出して捜索する。この事例でも、ライトの点滅によって、現場を知らせることに成功している。

ヘリに向かってライトを点滅させること。

腕や体を使って、方向を指し示すのも有効である。事例では、トラバース状の登山道にいる者が、体を折り曲げて下を指し示すことで、要救助者がその下の崖にいることを知らせることに成功している。

1.5 航空救助資器材説明

ホイストで隊員が降りる場合、一人目の隊員は、要救助者の搬送用の簡易ハーネス(輪っか状。脇下に通す)、簡易シットハーネス(ゆりかご状)、救急道具、通信道具、登攀道具(カラビナ、シュリング、プーリーなど)を装着している。

登攀道具は、着地点が急峻な場合や、要救助者を移動させることを想定したもの。

ハーネスでの救助が可能な場合、1人の隊員で対応する。所要時間は5 - 8分。

隊員が現場に降り立った後、天候の急変でヘリが撤退する可能性がある場合は、隊員はビバーク用具も持つことになる。

担架を要する場合は2名の隊員が降下する必要がある。担架は折り畳み式で、二人目の隊員が背負って降ろす。所有の担架は2種類。通常の担架と、患部を固定出来るタイプ(ビーズ入りの布団状のマットに減圧弁が付いたもの。要救助者が寝た状態で減圧させ、マットが成形される)。

担架を要する場合、所要時間は20分程度となる。

2. 野外救命救急法について

米国Wildness Medical Associatesのテキストを用いて、野外救命救急法の講義を頂いた。

医師、看護師の免許を保持しない者が対処出来る救急処置は限られるが、出来る処置や、症状の特徴を捉えるための要点を習得することは、必要だと感じた。症状の特徴を捉えることは、ヘリなどの公的救助を要請時にも何の器具が必要かを事前に伝えられるため、役立つものと考える。

(尚、この協会のHPには、「現在、北米での社会的な野外救命救急の評価はとても高く。アウトドア・ガイドやスキーパトロール、パークレンジャー、特定の教職員や消防、林業、農業に携わるには、野外救命救急の資格は必須条件と、各自治政府が位置づけています。社会の中でこの救命救急法は必要だと、認められているのです。」とある。)

3. 各県連活動報告

各県の報告の一部として、千葉県より、独自に考案したフリクションノットやシステムの紹介があった。その他、ロープの摩擦によりロープシュリングが溶断する実験、荷重分散の実験を行った。



「季節の花 300」よりシュラン

クリーンハイク第2回実行委員会議事録

2月27日

[場所] 県連事務所

[出席者] 大用、鈴木、岩佐(川崎HC)・渡辺(相模AC)・磯部(地平線の会)・三上(こぶしの会)・高橋、萩原(藤沢山の会)・関根(みずなら)・栗田(やま++)・黒井(雪童山の会)・青柳(山ブキの会)・伊藤(横浜HC)・森下(AC横浜)

[内容]

・各会からの実行委員の顔合わせ
 ・実行委員会スケジュール(日程・場所・会議内容)、前回実行委員会決定事項確認
 ・役員選出

委員長：渡辺(相模AC)、副委員長：関根(みずなら)、

事務局長：大用(川崎HC)、一般参加者対応 名簿作成管理 保険加入：栗田(山++)、

広報 ビラ作り 宣伝：三上(こぶしの会)、水質調査：小林・伊藤(横浜HC)、登山道整備参加者募集と県と交渉：磯部(地平線の会)・黒井(雪童山の会)、前夜祭 見晴小屋交渉と当日：森谷

次回以降の実行委員会出席者でも係を決定する

・清掃コース決定(従来コースで決定。新設コースの希望については各会なし)、登山道

整備(大山イタツミ尾根)

・ビラたたき台チェックと確認 問い合わせ先、申し込み締切(開催1週間前の5月13日)、雨天時の判断基準について、雨天時間問い合わせ：三上(こぶしの会)、集合場所、時間、誤字・脱字・レイアウト等

・3/11県連総会ビラ配布

・救助隊への依頼：大用(川崎HC)

・対交渉県、県庁訪問(2月17日)報告：磯部(地平線の会)・高橋(藤沢山の会)

神奈川県への対応はグループリーダーと技師の2名

依頼内容：名義後援、県民への広報、懇談

懇談内容：担当技師(新人)へクリーンハイク実施の経過と取り組み内容を説明、水質調査について、トイレ問題・落とし紙の問題、クリーンハイク取り組みの意義
 ・高橋(藤沢山の会)長年担当項目について登山道整備：磯部(地平線の会)、ゴミの集積・

回収依頼・文書作成及び提出など涉外：大用(川崎HC)へ申し送りを行っていく。

・各会希望コース受付：横浜HC(A大倉高原・B大倉尾根/花立)、みずなら(F鍋割山)、

川崎HC(Iイタツミ尾根・J不動尻・M大山見晴台)、雪童山の会・相模AC(登山道整備) 決まっていない会は早めに決定おねがいします。

2月 事務局長会議報告(議事録)

2012年2月14日(火) 7:20開始

司会：西川(事務局部員) (敬称略)

出席者：小池(川崎労山) 伊藤(川崎HC)・砂原(川崎柴笛)・内藤(AC横浜)・丸尾(横浜HC)・三上(こぶし)・中河原(藤沢)・青木(ナーゲル)・蝦名(相模AC)・松浦(みずなら)・早川(さがみ山友会) 徳田(炬の会)・磯部(地平線) 栗田(やま++)・渡辺(メーグリ家)・中田(M&C)

理事等：三上(機関誌)・入木田実文(事務局部員)・西川(事務局部員/記録)

【 】 県連からの連絡事項(連盟ニュース2

月号参照)

(1) 1月拡大常任理事会報告

活動報告 規約・規定改正 規約集の整理 定期総会のお知らせ(追加確認)

理事推薦用紙

2/29(水)総会準備の集い 代議員数の確定 代議員名簿提出依頼

(2) 総会

3号議案書の提案について説明

1号議案書は作り直します。

本日2/14(火)の会員数で、代議員数を決める。

議長団選出

論議の末、代議員1名の会と2名以上の会

に分けて「あみだくじ」で決める。

Aグループ 議長：AC横浜 副議長：
さがみ山友会 書記：みづなら・カモ
の会

Bグループ 資格審査：メグリ家・雪童山
の会 選挙管理委員：M&C・山ブキの会
担当者欠席した時には、ピンチヒッター
を宜しくお願い致します。

2/29(水)「総会準備の為に集い」の時
に、「議長団の説明会」を行う。19:30集合
(3) その他

自然保護委員会 2/27(月)ｸﾘｰﾝｲｸ実
行委員会 19:00～

【2】各会からの報告(怪我・トラブル等報
告)

<川崎労山>赤岳で足がつった会員がいた
が、問題無く下山出来た。

<川崎HC>ヘリコプターで救出されたが、
自分達の事が捜索の対象になっているとは
考えていなかった。1/3-5 霊仙山(りょう
ぜんさん・滋賀県1084m)悪天候のため下山
日を遅らせ避難小屋で待機。現地の方が放
置された車を見つけて県警に知らせ、避難
小屋にいた4人がヘリで無事救助された。

<川崎柴笛>2/4(土)～5(日)谷川の西黒
尾根に雪洞のトレーニングに入る。作業中
雪洞が壊れ、中で作業していたメンバーに
雪崩れた雪が当たったが軽い打撲で済んだ。

<横浜HC>組織が危機的で県連理事推薦
できない。ゲレンデスキーで鎖骨骨折が1名、
足の捻挫が1名、加入していたスキー保険で
対応した。

<横浜こぶし>例会の出席率が非常に悪
く悩んでいる。

<カモの会>テント内での二酸化炭素中
毒があった。みぞれ混じりの雪が降る中歩
いて赤岳鉱泉でテント泊。ガスランタン使
用。夕飯を食べる為、お湯を沸かそうと思っ
たが、中々ガスが点火しない。頭痛がした
時には中毒になっていた。急いで換気をし
たが、私自身は10分程動けなかった。50mを
歩くのに1時間位かかった。鉱泉小屋に泊め
て戴き、翌日自力で下山する事が出来た。

<地平線の会>休眠状態ですが、1名雲取
山に行き、1名はコスタリカに行っている。

<やま++>17名になる予定。山行計画が
少なく動きが鈍い。

<メグリ家>入会希望者には、リーダー
学校に入って勉強してから来て下さいと言っ
ている。山行はヤマレコで。先週丹沢の円
山木沢に行った。F1から全て凍っていてF6・
7は青氷になっていた。気持ちの良いアイス
クライミングが出来ました。

<M&C>前回報告した穂高で1名が凍傷に
なった件は、中指は完治し小指は様子を見
ている状況。

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会 <http://www.geocities.co.jp/kawasakirousanhp/>
報告：小池秀子 計42名(男27 女15)

2/4 鷹取山(4)	こぎり(1)	2/26 鷹取山(5)	3/10 神楽峰 スキー
2/5 湯河原・幕岩(2)	2/18 大山(1)	2/26 入笠山・スキー(4)	3/10 大野山
2/5 伊豆・城山(4)	2/18-19 乗鞍岳スキー(4)	3/3 大山川沢アイゼント	3/17-18 八ヶ岳
2/11 九鬼山(4)	2/19 湯河原・幕岩(8)	レ	3/18 幕岩
2/11-12 雲取山(1)	2/25-26 関東ブロック救	3/4 広沢寺岩場清掃	
2/11-12 南アルプスの	助訓練(2)	3/10 谷川岳	

川崎ハイキングクラブ http://homepage2.nifty.com/kawasaki_hc/
報告：川上勝夫 計100名(男50 女50)

1/18 深川七福神/東京都内(14)平日Gr	2/4 府中散策/東京都内(19)中ハイクGr
1/20-22 キロロｽｷｰ-場～横林コース/北海道(2)個人 山行(山ｽｷｰ)	2/5 景信山/高尾・陣馬(27)例会山行(四季Gr)
1/25 加波山/茨城(3)呼び掛け山行	2/11-12 天狗岳/八ヶ岳(15)教育遭対/四季G合同
1/29 天園、大平山/鎌倉(72)新春ハイク(温泉Gr)	2/11-12 奥日光/日光(13)教育遭対(スノーシュー)
1/31 三本槍岳/那須・塩原(2)個人山行	2/11-12 小野子山/赤城・皇海(6)縦走Gr
	2/11-12 猫魔スキー場～ゲレンデ林コース/裏磐梯

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| (2)個人山行 (フィルムスケー) | 3/21 神山 箱根路を楽しむ |
| 2/15 大山/丹沢(10)平日Gr | 3/24 御嶽山(秩父)お昼はコックリ |
| 3/4 鷹取山 例会山行 野点も・ | 3/20 大山 三峰山 ミツマタの群生を観る |
| 3/10 三浦アルプス 相模湾から東京湾へ | 3/24~3/25 茅ヶ岳・横尾山 深田久弥終息の山を・・・・ |
| 3/17 日の出山~観梅と温泉 吉野梅郷 | 3/25 二ノ宮~下首我 ウオーキング |
| 3/18 狭山丘陵・トトロの森を訪ねる | |

川崎柴笛クラブ 機関紙「柴笛レポート」 <http://www.shibabue.com/page/page-1.htm>

報告:砂原浩二 計39名(男24 女15) 平均48歳

- | | | | |
|-----------------|-------------------|---------------|------------------|
| 2/4 城山(2) | 2/11-12 白毛門(5) | +5) | 2/19 青梅丘陵(1) |
| 2/4 高尾山(1) | 2/11-12 八ヶ岳(2) | 2/18 湯川(3) | 2/25-26 金鶏山(1+1) |
| 2/4-5 西黒尾根(11) | 2/11-12 縞枯山(1+1) | 2/18 湯河原幕岩(2) | 2/25-26 日光(2) |
| 2/5 滝子山(3) | 2/12 赤薙山(1+1) | 2/19 三方山(1+1) | 2/25-27 天狗尾根(2) |
| 2/11 湯河原幕岩(2+1) | 2/12 湯河原幕岩(1+1) | 2/19 御岳山(6) | 2/26 鋸山(2) |
| 2/11 万二郎岳(5) | 2/16-19 ニセコスキー(1) | 2/19 塔ノ岳(1) | 2/26 湯川(2+3) |

アルパインクラブ横浜 <http://acy.jpn.org/>

報告=岸 直哉 計38名(男23:女15) 平均 歳

- | | | |
|---------------------|----------------------|---------------------|
| 2/3 河又(1+1) | 2/18 丹沢縦走(宮ヶ瀬~丹沢三 | 稲山(国際山岳医講習)(1) |
| 2/6 羊蹄山(1+1) | 峰~丹沢山~塔ノ岳)(1+1) | 2/19 旭岳(1+1) |
| 2/8 十勝岳・三段山(2+1) | 2/18 カミホロカメトック山(1+2) | 2/25-26 谷川岳・西黒尾根(深雪 |
| 2/12 白毛門(5) | 2/18 三浦半島(縦走トレイルラ | 訓練)(8) |
| 2/12 タカマタギ(2) | ン)(2) | |
| 2/12 塔ノ岳・丹沢山・蛭ヶ岳(1) | 2/18-19 札幌テイネスキー場・手 | |

横浜こぶしの会 会報こぶし <http://www.justmystage.com/home/smikami/index.html>

報告=三上茂 計21名(男14人 女7人) 平均 歳

- | | | | |
|-----------------|-------------------|--------------|---------|
| 2/9 室内例会(5) | 2/28 役員会(4) | 3/8 室内例会(6) | 3/24 総会 |
| 2/11-12 雲取山(中止) | 3/2-4 湯ノ丸山(2+他)HC | 3/10-11 雲取山 | |
| 2/25 沼津アルプス(中止) | L学校カ ショ山行 | 3/10-11 丹沢縦走 | |

藤沢山の会 会報「稜線」 http://outdoor.geocities.jp/akio_saito21/

報告=中河原昭夫 計98名(男44:女54) 平均62歳

- | | | |
|---------------------|-----------------------|----------------------|
| 2/1 運営委員会(14) | 2/18-19 伊豆・雲見周辺(8) | 3/7 運営委員会 |
| 2/4 南関東・清澄山(1) | 2/19 丹沢・丹沢山(1) | 3/10 箱根伊豆・南郷山~幕山(新 |
| 2/4 丹沢・大山北尾根(4) | 2/22 南関東・湘南平(1) | 人歓迎山行50名) |
| 2/4 丹沢・仏果山~高取三山(5) | 2/22 室内例会(42) | 3/13 機関誌印刷・発行 |
| 2/7 機関誌印刷・発行(11) | 2/23-24 北関東・日光、赤岩滝(6) | 3/14 室内例会 |
| 2/8 室内例会(40) | 2/25 丹沢・大山(1・他) | 3/17-18 上信越・タマヅ |
| 2/11-12 上信越・谷川岳天神尾根 | 2/26 南ア・入笠山(13) | 3/19 入会説明会 |
| (8) | 2/26 南関東・森戸川源流~田浦 | 3/21 臨時運営委員会 |
| 2/11-12 丹沢・蛭ヶ岳(12) | 梅林(16) | 3/28 室内例会 |
| 2/13 丹沢・広沢寺岩ト(2) | 3/2-4 上信越・湯の丸山(5) | 3/31 箱根伊豆・沼津アルプス(13) |
| 2/18 丹沢・焼山、黍穀山(1・他) | 3/3-4 八ヶ岳・箕冠山(2) | |
| 2/18 北関東・筑波山(12) | 3/4 箱根伊豆・大平山(15) | |

相模アルパインクラブ 機関紙「こだま」 <http://sagamiac.sakura.ne.jp/>

報告:水村和也 計25名(男17:女8) 平均59.92歳

- | | | |
|---------------------|-----------------------|-------------------|
| 2/2 四十八滝(2) | 2/10 塔ノ岳(表尾根-大倉尾根)(3) | 2/26-27 広河原沢左俣(2) |
| 2/4-5 城山 幕岩(8) | 2/19 塔ノ岳(1+1) | 2/26 城ヶ崎(1) |
| 2/5 四十八滝沢(2+2) | 2/12 大山(1) | 2/27 幕岩(3) |
| 2/4-5 甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根(1) | 2/17-19 L学校 西黒尾根(1) | 2/26 幕岩(1) |
| 2/4 幕岩(2) | 2/20-21 阿弥陀岳南稜(2+1) | 2/26 仏果山~経ヶ岳(1) |
| 2/5 幕岩(1) | 2/19 城ヶ崎(1) | 2/28 幕岩(2) |
| 2/5 弘法山(3) | 2/20 幕岩(4) | |
| 2/11-12 城ヶ崎 幕岩(2) | 2/26 霧積(1+2) | |

さがみ山友会 年報 http://www.geocities.jp/sagami_sanyukai/

報告:早川尚武 計32(男26:女4)

- | | | |
|----------------------|---------------------|---------------------|
| 1/3 湯河原 幕岩 FC(2) | 1/9 奥多摩 白妙橋 FC(2) | 1/9 妙高 黒姫山 MS(1) |
| 1/8 奥秩父 小川山アイスツリー、 | 1/8-9 八ヶ岳 赤岳、阿弥陀岳 縦 | 1/14-15 奥秩父 小川山アイスツ |
| 唐沢の滝 IC(2) | 走(1) | リー、唐沢の滝 IC(2) |
| 1/8 丹沢 三ノ塔、烏尾山 縦走(2) | 1/8 妙高 三田原山 MS(1) | 1/15 上州武尊山 前武尊 十二沢 |

MS(2)	大滝 IC(2)	2/19 妙高 三田原山 MS(2)
1/21 上州武尊山 前武尊 荒砥沢	2/11-12 志賀高原 タコチコース・	2/18 湯河原 幕岩 FC(3)
MS(1)	東館山北面 MS(2)	2/19 西上州 相沢奥壁・エイブリ
1/22 谷川連峰 雪崩・搬出トレー	2/11-12 南アルプス 荒川出合・	ルフルの滝 IC(2)
ニング 雪崩・搬出 訓練(7)	夢のブライダルベール IC(3)	2/18 谷川連峰 一ノ倉沢偵察 IC
1/28 湯河原 幕岩 FC(2)	2/11 奥武蔵 日和田山 RC(4)	(3)
1/29 奥秩父 小川山アイストリー、	2/11 後立山 ヒヨドリ峰 MS(2)	2/19 西上州 犬殺しの滝 IC(3)
唐沢の滝 IC(3)	2/12 後立山 横前倉山 MS(4)	2/19 菅平 大谷不動 IC(3)
1/29 奥多摩 白妙橋 FC(2)	2/12 ハケ岳 入笠山 MS(1)	3/4 ハケ岳 権現岳 PH 企画山
2/4-5 南アルプス 大武川 一ノ沢	2/18 妙高 妙高前山 MS(2)	行(5)

カモの会

<http://www.kamonokai.com/hp/index.html>

報告:渡辺

計52名(男33:女19)

ヤマレコ<http://www.yamareco.com/>

02/01 湯河原幕岩(2)	02/11 阿弥陀岳北稜(1+2)	02/18 北ハケ岳(4)
02/03 三田原山、妙高前山(1+2)	02/11 ハケ岳 天狗尾根(3)	02/19 湯河原幕岩DE梅祭り(4)
02/04 かぐらスキー場(4)	02/12 鳳凰三山(1+1)	02/19 吾妻渓谷、不動滝(2)
02/04 丹沢主脈縦走(1)	02/12 霧積温泉付近の氷瀑(3)	02/23 キロロ(ゲレンデ)(1+1)
02/04 芦安アイスクライミング(6)	02/16 英彦山(1+2)	02/25 ハケ岳旭東稜(1+3)
02/04 かぐらスキー場(3+1)	02/18 鎌倉アルプス(1)	02/25 妙高・三田原山(雪崩講
02/11 野岳(長崎県大村市)(1+3)	02/18 谷川岳・西黒尾根(雪洞	習)(1+1)
02/11 白毛門 ラッセルトレー	山行)(3+1)	02/26 筑波山(2+2)
ニング(4)	02/18 かぐらBC(3+4)	02/26 ハケ岳、南沢大滝(2)

M & C

<http://blog.mandc.moo.jp/>

報告:岡崎広士 計8名(男6:女2)

2/5 幕岩(1+5)	2/12 荒川出合ブライダルベール	2/19 幕岩(2)
2/5 城ヶ崎(1+他)	(1+1)	2/26 ハケ岳大同心大滝(1+1)
2/5 荒川出合(1+1)	2/18 一の倉偵察(1+2)	2/26 幕岩(1+1)
2/11 幕岩(1+他)	2/19 相沢流域犬殺しの滝(1+2)	



「季節の花300」よりアセビ



登山時報 3月号 目次

大雪山の花園はいま 横須賀邦子 03	古賀志山/栃木 第1回 安藤康宏 24
山のスケッチ 竹本幸造 08	山のファーストエイド vol.13
連載 クイズ 地図読み迷人 村越真	恵秀彦 26
宮内佐季子 09	JWAFクリック 28/全国連盟の活動 31
野鳥との出会い カヤクグリ	専門委員会活動報告 32/編集後記 34
福井壽彦 小枝琢三 10	インタビュー ひと 石井光造さん
鈴木澄雄 35	
シグナル	地元会員特選ミニガイド
阪神・淡路大震災から東日本大震災	三重・大蛇峰から烏帽子岩/児島弘幸
へ「1.17と3.11」 斉藤義孝 12	熊本・阿蘇 根子岳/吉野和記 36
連載 モイモイのモイ 伊藤忠男 13	ブックエンド 『山の白神』『生きる
残雪の鍋倉山へお誘い 大賀由普 14	ために登ってきた』 中島典子 38
連載 放射能時代の登山	あらかると 小さな山 崇台山
登山道の線量調査をはじめた福島県	石井光造 39
連 和泉功 16	会報えつらん室 田上千俊 40
ハイキング・アンケート 石川友好 18	オススメ山道具 サムスプリント
元気に登山を続けるために 第3回	笹原芳樹 42
齋藤繁 20	
山陽登山入門講座13年を終えて	
最終回 守屋益男 22	
アクセス問題 現代岩場事情	

県連のスケジュール

3月		4月		5月	
1	木	1	日	1	火
2	金	2	月	2	水
3	土	3	火	3	木
4	日	4	水	4	金
5	月	5	木	5	土
6	火	6	金	6	日
7	水	7	土	7	月
8	木	8	日	8	火
9	金	9	月	9	水
10	土	10	火	10	木
11	日	11	水	11	金
12	月	12	木	12	土
13	火	13	金	13	日
14	水	14	土	14	月
15	木	15	日	15	火
16	金	16	月	16	水
17	土	17	火	17	木
18	日	18	水	18	金
19	月	19	木	19	土
20	火	20	金	20	日
21	水	21	土	21	月
22	木	22	日	22	火
23	金	23	月	23	水
24	土	24	火	24	木
25	日	25	水	25	金
26	月	26	木	26	土
27	火	27	金	27	日
28	水	28	土	28	月
29	木	29	日	29	火
30	金	30	月	30	水
31	土			31	木

2012年度の全国的な規模の集会・会議予定

全国雪崩講師研修会	2月10日～12日	(中アルプス・千畳敷)
青年学生読図講習会	5月	(神奈川・丹沢)
青年学生クライミング講習会	6月	(禅奈川・)
青年学生沢登り講習会	8月	神奈川・丹沢
青年学生沢登り講習会	9月	
中央登山学校・指導者セミナー		
MFAインストラクター養成講座		
全国ハイキング学校	9月15～16日	
全国登山者自然保護集会	11月	大阪・
第12回東日本女性登山交流集会	10月13～14日	山形・神室連峰